

働こう障害者も 働けるんだオレたちも
こぶしだより
 1998年3月18日(水)
 発行 第213号
 こぶし作業所
 宇都宮市柳田町1401
 ☎0286(62)1911

第17回

こぶしまつり

2月15日午前6時、目覚めると外は一面真白な世界、空からも綿のような雪が降りてくる。「あゝあまただ：」とあきらめる。そんな気持ちになってしまふこぶしまつりの朝を迎えました。

相憎の天気が始まったこぶしまつりでしたが、始まってみると熱気ムンムンの舞台を参加者と出演者がつくりだしてくれました。今回こぶしまつり初出演となる演歌歌手・

五家英子さんのステージは仲間たちをステージに出し、明るく楽しくにぎやかに雰囲気盛りあげてくれました。毎年恒例のシルバー大学OBのみなさんの大正琴はみんなの知っている曲を選びしつとりと。そして午前の部の最後は昨年からこぶしの仲間と親交



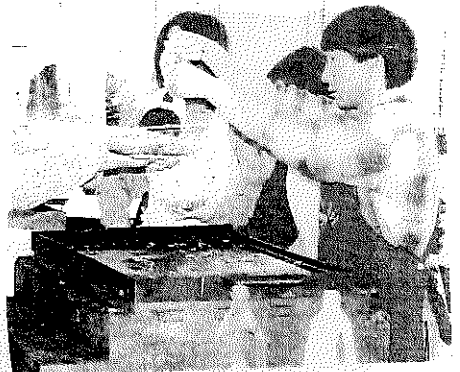
のある劇団「曼珠沙華」のみなさんの踊りでまたまた大いに盛りあげられました。その中で、劇団の座長さんが涙を流しながら言った「私たちの福祉の原点はこぶしなんです。ここから始まったんです。」の言葉は私たちにとって嬉しく、これからは希望が持てる励みの言葉となりました。



午後はこぶしまつり恒例の「のど自慢腕自慢大会」これは地域の老人会のみなさんも楽しみにしているようで、曲名と名前を書いたメモをすでに用意してあったり、とび入りで「俺もうたう」と声がかかったり和やかに進みました。老人会・仲間・保護者・家族・職員等11人が歌い優勝はみごとにこぶしの仲間池田さんが勝ちとりました。

模擬店やバザー会場に目を向けてみると、模擬店ではボランティアのみんなが手慣れた調子で担当してくれています。わたあめ機の調子が悪かったり、準備した食材が少なく早く売り切れてしまったりとアクシデントもありました。超ベテランのボランティアの方が核となってまとめあげてくれました。

一方バザー会場は、古着中心の販売で朝一番からそちらを目的に会場へ向かう人も多かったです。また、今回子どもを対象に「ゲームコーナー・ボール投げビンゴ」を設けましたが、参加者の中には子どもが少なく大人もムキになってやっていたようです。



準備・宣伝不足と悪天候の影響で参加者は全体で150名程度と少々さびしかったのですが、楽しい1日をおくることができました。最後になりましたが、こぶしまつりを盛りあげてくれた出演者のみなさん、ボランティアのみなさん、そして保護者のみなさんに感謝いたします。



29	28	26	25	24	23	22	21
(日)	(土)	(木)	(水)	(火)	(月)	(日)	(土)
	休	"	"	"	"	休	春分の日
	所	"	"	"	"	所	日
	日						
			春休				
			み				
			於・教育会館				
			上映会				
			「どんぐりの家」				
			日曜作業所				

三月のこよみ

ヘイコーパックさん

トイレ掃除

ありがとう



毎月第一・第三木曜日の午前7時、けやき作業所は「お早うございます。」とヘイコーパックさんの社員さんの声が響きます。

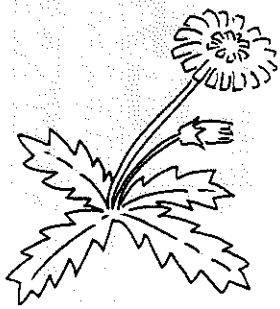
ヘイコーパックさんの鈴木社長がけやき作業所を訪れたのはおととしの夏頃でした。鈴木社長は、日本を美しくする会「栃木掃除に学ぶ会」の事務局長をやられています。

日本を美しくする会は、「凡事徹底」を信条に実践を続けられ、「心の荒みのない会社(社会)にしたい」という思いで、創業30余年掃除を貫いている、イエローハットの鍵山秀三郎社長の趣旨に賛同し結成されました。栃木掃除に学ぶ会はその趣旨を理解し、平成9年5月に結成され、宇都宮市の中学校や国分寺町の愛泉幼稚園で「学ぶ会」を開催しました。



けやき作業所でもトイレを手袋を使わずに素手で掃除しているのは、「トイレをきれいになります、それを差し上げる事が目的ではなくトイレをお借りし磨かせて頂く過程で自分の人生に気付き感謝・感動の気持ちを頂く事が目的」との事です。

このトイレ掃除がきっかけでヘイコーパックさんとけやき作業所との付き合いが始まりました。5月の「ひろがれコンサート」の実行委員会でのチケット販売・パンフの協賛広告の宣伝に精力的に活躍していただいたり、会社でたまっているアルミ缶を持ってきていただいたり、芳賀町民祭の時はボランティアでバザーに協力してもらったり、その他のけやき作業所の活動に協力してもらっています。



いつもヘイコーパックさんが掃除してくれた後のトイレはピカピカで使うのが気持ちが良いです。
(田島)

タンク完成する

去る1月30日、富士記念財団の助成金を受け、石鹼小屋の隣に油を入れる1・9tとそこから油を吸い上げるモーターを設置しました。このことにより油が均質化され質の良い廃油石鹼ができるわけですが、当の石鹼小屋よりもタンクの方が立派で私も仲間もこれはびっくりしました。

今後とも、徐々に規模拡大と整備を充実させながら仲間と共に工賃アップを目指し、良い石鹼をつくっていきたいと思っていますので皆様方のご指導ならびにご協力お願い致します。
(初めて動かした日)
「野中くくん、スイッチ入れて。」
「ゴゴゴゴ」小屋が揺れてモーターが止まる。
「小屋の電圧が低いからこぶしから電気ひっぱってきて大橋さん。」
「野中くくん、スイッチオン。」
「ゴギーギーギ。」モーターが止まる。
「あれ、元栓閉めとったから出んわけだわ。」
「あっはっはっ」三人顔を見合わせて笑う。
失敗の元は言うまでもなく私でしたが仲間たちの心の広さに救われた初日でした。
(赤瀬)



3月22日(日) 栃木県教育会館大ホール
〈午前の部〉10:00開演 10:30開演
〈午後の部〉1:00開演 1:30開演
主催 栃木県「どんぐりの家」を創る会実行委員会
協賛 栃木県社会福祉協議会、宇都宮市、宇都宮市教育委員会、宇都宮市社会福祉協議会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、栃木県立ろう学校同窓会、栃木県、下野新聞社、栃木新聞社、宇都宮支店、宇都宮市立宇都宮東小学校、毎日新聞宇都宮支店、宇都宮市身体障害者福祉委員会、県立3号PIA施設
前売券発売中! 大人1,200円(当日1,300円)・学生(小・中・高校生)700円(当日800円)
(問い合わせ先) ●こぶし作業所 TEL028-682-1911・FAX028-682-1912
●けやき作業所 TEL028-677-5789・FAX028-677-5789
●業務用 TEL028-621-7898・FAX028-621-7898